

日本共産党松江市委員会機関紙

新しい松江

発行 日本共産党松江市委員会・松江市袖師町3-6 電話24-2456

ジェンダー平等に逆行 統一協会にお墨付き与えるな 日本共産党議員団 まちかどから訴え

日本共産党の尾村利成県議と舟木けんじ、たちばなふみ両松江市議は15日、松江市内で宣伝、県議会・市議会一般質問について報告しました。尾村県議は旧統一協会と行政との関わりで青少年育成や教育分野に旧統一協会の関係者が入っている県内の実態を報告しました。国際勝共連合の幹部を講師に迎えた「島根



まちかどで訴える尾村としなり県議
左はたちばなふみ市議、右が舟木けんじ市議

人格教育シンポジウム2019」（島根人格教育協議会主催）を島根県教委と松江市委員会が後援していた実態があります。



舟木市議とサポーターのみなさん

この日の他、議員団は憲法違反の国葬やめよなど各地でサポーターと共に訴えました。差し控える」と述べたと報告しました。舟木市議は、不登校支援について「子どもたちが安心して学べる教育の実現へ公的支援の拡充が必要」と求めたのに対し、市が本格的な支援を取っていくと表明したことを報告しました。

この講師はジェンダー平等やLGBTなどの性の多様性を否定する発言を行っており、県教委、松江市委員会の道義的責任、社会的責任に鑑みて、過去にさかのぼり、後援の取り消しを行うよう求めていくと訴えました。



たちばな市議とサポーターのみなさん

この四自治会の会長さん、老人会の会長さんにも快く署名を頂きました。県・市営住宅の会長さんはこんな署名なら回覧で回して集めますと言われ心強く感じたものです。700名余の署名をもって、故小笹義治市議の仲介で申入れました。松江市の回答は「順次整備していく」とのことでしたが、小笹議員の追及もあり約三年後に、比津が丘郵便局前、東生馬バス停への設置が実現しました。

年11月に「法吉九条の会」を結成しました。法吉九条の会は法吉公民館地域の幅広い方々に世話人になつてもらい、8周年記念集会まで続けました。賛同署名は700近くになりました。特に福島原発事故のあった2011年の、7月18日の5周年集会是、共産党尾村としなり県議、島根原発反対運動菅原康江氏を講師に招き「原発何でも語り合う集い」として開催。70名を超える参加者でマスコミも何社かが報道する盛会でした。



地域住民と共に歩んで 居住支部長二十二年 比津支部長 和田二郎

う卸会社で働いていました。足掛け7年勤務し、その後、昭和39年10月から平成12年まで36年間、松江民主商工会で働き、中小業者の営業と生活を守る活動に没頭しました。

法吉9条の会で活動
2003年アメリカは自身の始めたイラク戦争に日本の自衛隊の出動を強く要請しました。これを受け小泉政権は、武器を持って戦うのではなく戦場の「後方支援に派遣する」という理屈で2005年に特別措置法を成立させ実行しました。

改憲の旗頭であった安倍元首相が銃撃テロで亡くなりましたが、岸田政権下で改憲策動が強められています。草の根からの九条の会の再起動と、憲法を守る運動の強化が求められています。

私は1962年5月に入党しました。60年安保改定反対の国民的大運動が冷めやらず、党員や民青同盟員が毎年増える頃でした。

当時、私は京店にあった化粧品、洗剤、歯磨きなどを扱

屋根付きバス停設置を退職して間もない頃、「団

この事態を受け、著名人九名が「九条の会」を立ち上げ、賛同アピール署名が呼びかけられ、呼応する形で2006

また島根原発2号炉再稼働を来年度にどの動きもある中「再稼働許すな」の運動も重要です。100年を迎えた日本共産党。今こそ出番です。